

要保管



取付説明書

脱着作業を行う前に別紙の取扱説明書と
合わせて必ずお読みください。

Silk Blaze.®

トヨタ アルファード/ヴェルファイア

アルファード/ヴェルファイア 3.5L 2WD (GGH20W) '08.05～
アルファード/ヴェルファイア 2.4L 2WD (ANH20W) '08.05～

【商品品番 SB-VF-CSC-SUSK】

目 次

- 車高調整式サスペンションキットのキット内容 1P
- サスペンションキット交換時のご注意 1P
- 警告表示の意味 1P
- サスペンションキット組立図 2P
- 補修用パーツリスト 2P
- フロント・サスペンション取外し／取付 3P
- リヤ・サスペンション取外し／取付 5P
- 車高調整の仕方 7P
- 参考車高 7P
- 型取車諸元表 7P

△ 注意 減衰力調整は、ロッドの先端で行ないます。装着後減衰力の調整を行なう際、トリムなどの内装及びリヤシートの取り外しなどが必要になる場合があります。

お問い合わせ先

株式会社 ケースペック

愛知県高浜市論地町3-9-57 〒444-1314

TEL:0566-54-0335 FAX:0566-54-0337



キット内容

キット付属パーツ等全て揃っているか必ず確認してください。

フロント・サスペンションキット LH	×1	車高調整用スパナ	×2
フロント・サスペンションキット RH	×1	取扱説明書	×1
リヤ ショックアブソーバー	×2	取付説明書	×1(本書)
リヤ 車高調整ネジスペーサー	×2		
リヤ スプリング	×2		

⚠ サスペンションキット交換時のご注意



1) 現在お使いの物を外す時の注意

- 取り外す全ての取付部品の状態や、位置を注意して見ておいてください。
- 硬目のブラシなどで、締め付け部からゴミや錆を取り除いてください。
- ネジを外す前に、錆びているナットやボルトに油を染み込ませてください。
- 取り外したサスペンションと取付部品は捨てないでください。



2) サスペンションキットを取り付ける時の注意

- 取り付ける前に、製品の適応車種、年式、取り付け位置等を確認してください。
- キット内容の組立図を参照して、取り付けに必要な全てのパーツが組み込まれているか確認してください。
- 取付が終わったら、取り付けたサスペンションキットが車体、タイヤ、ホイールと接触していないか確認してください。



警告表示の意味

この取付説明書では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う重大事故の原因となる可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

「警告」や「注意」を促す記号



禁止



火気厳禁/火中に投じない

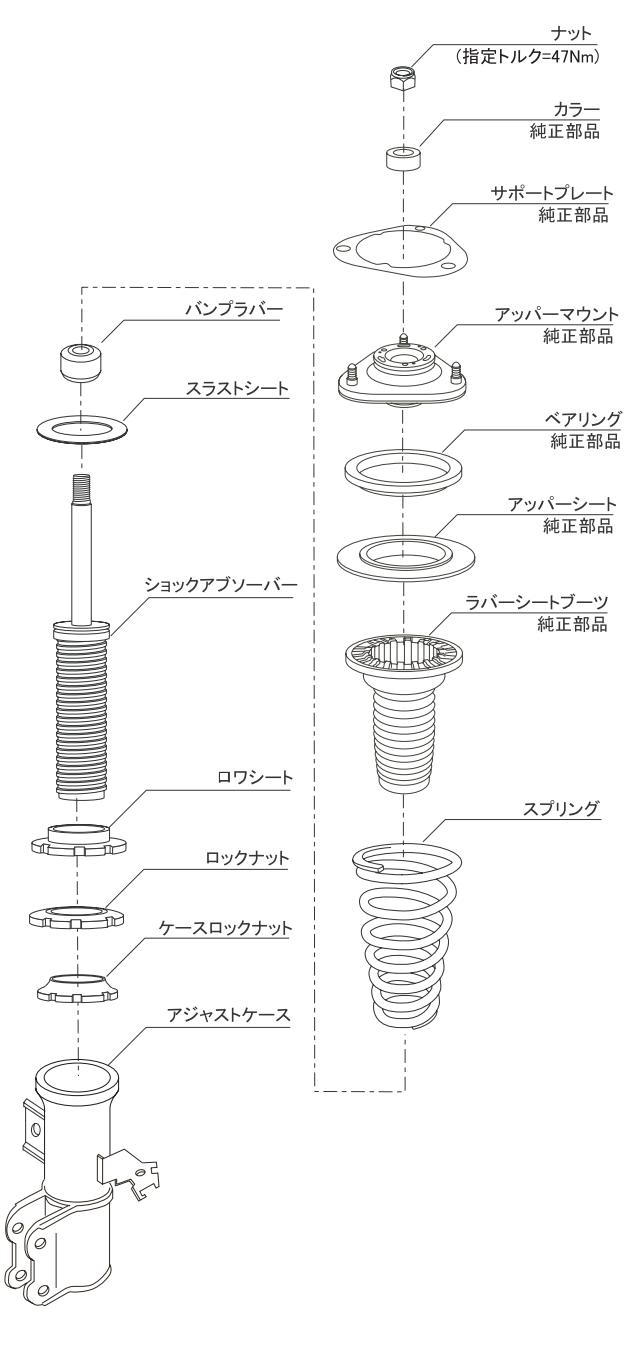


分解/改造禁止

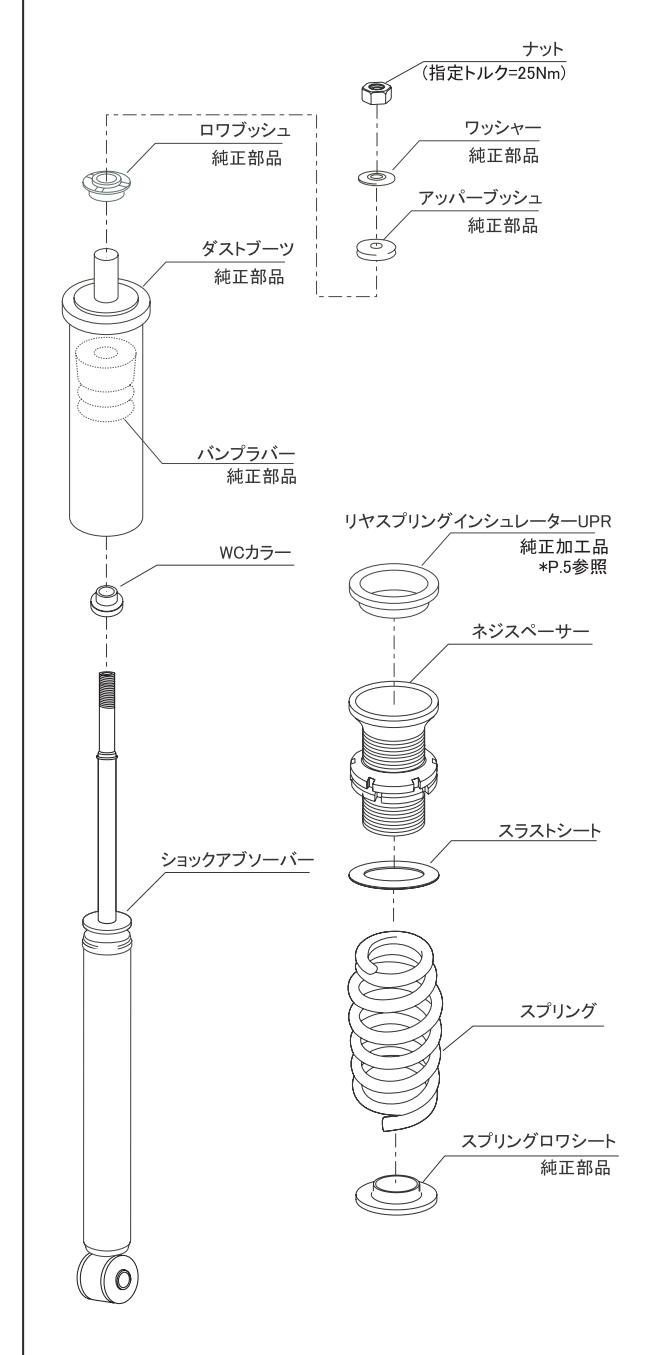


確認してください

フロント・サスペンション組立図



リヤ・サスペンション組立図



※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

!**注意** サスペンションキット組立時及び増し締め時の注意

このキットのショックアブソーバー上部ナット(ピロナット及びセルフロックナット)を締め付ける際、指定値以上のトルクで締め付けを行わないで下さい。オーバートルクによる締め付けは、ショックアブソーバーの破損の原因になります。

補修用パーツリスト

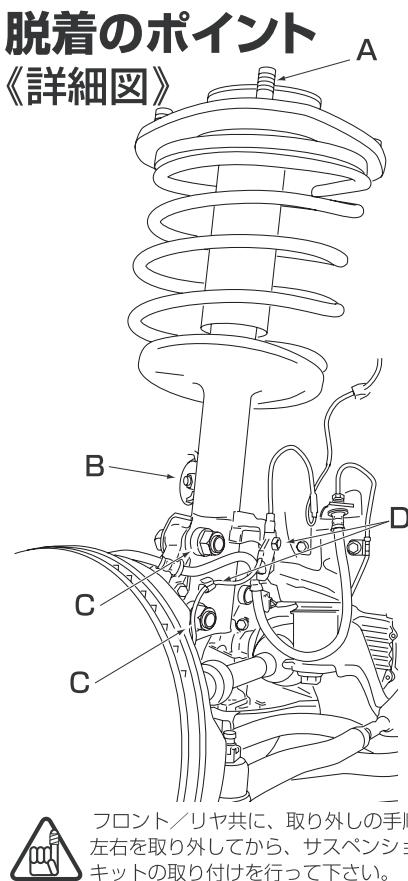
	パーツ名	品番	価格	備考
フロント	ショックアブソーバー LH/RH	00B 6KN F04B	¥27,300	LH/RH共通
リヤ	ショックアブソーバー	926 619 CBGM	¥21,000	LH/RH共通



※他のパーツにつきましては、組立図を参照のうえ販売店もしくは、当社までご連絡下さい。

FRONT フロント サスペンション

△注意 純正部品脱着の詳細につきましては、自動車メーカー発行の整備解説書をご覧ください。



フロント／リヤ共に、取り外しの手順で左右を取り外してから、サスペンションキットの取り付けを行って下さい。

減衰力調整の仕方

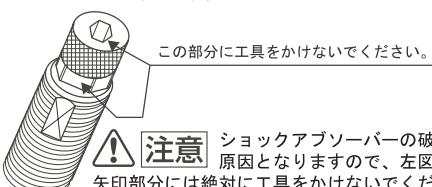
ショックアブソーバー頂部にあるダイヤルを回して調整します。右に回していく、止まった所が0段です。この位置が段数を確認する基準となり、左に戻したクリックの回数が段数になります。



減衰力調整ダイヤル上面

△注意 締めきり(0段)での使用は破損の原因となりますので、使用しないでください。減衰力は1~40段の範囲で調整出来ます。構造上40段以上に戻りますが、破損の原因となりますので必ず1~40段の範囲で調整してください。

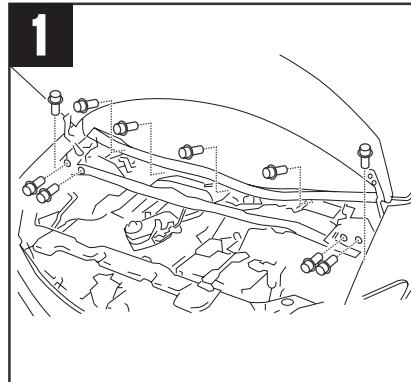
△注意 左右のショックアブソーバーの減衰力は必ず合わせてご使用ください。事故等につながる恐れがあります。



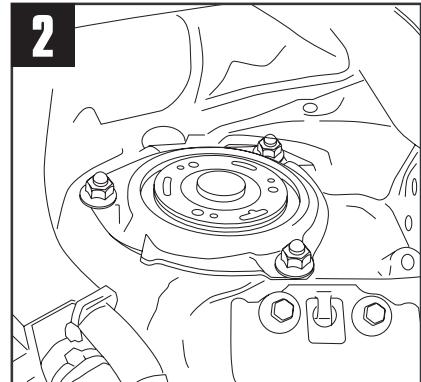
△注意 ショックアブソーバーの破損の原因となりますので、左図内の矢印部分には絶対に工具をかけないでください。

取外し

1



2

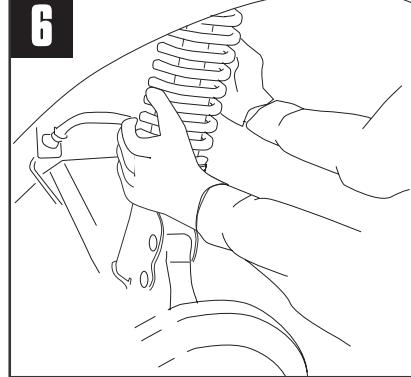


ワイパー・アーム、フロントフェンダツウカウル・サイドシール、カウルトップ・ベンチレーター・バー、ブレーキリザーバ・ブラケット、ワイパー・モーターASSYのコネクターを取り外し、ボルト10本を外しカウル・トップ・アウト・サイドとワイパー・モーター&リンクを取り外す。

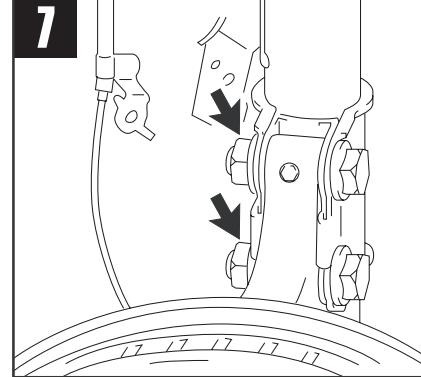
エンジンルーム内のショックアブソーバー上部取り付けナット3個を緩める。このとき、緩めるだけで取り外しはしない。
(詳細図 A)

取付け

6



7



ショックアブソーバーを車体に取り付け、エンジンルーム内のフランジナット3個をフロントサスペンションサポートガスケットを介して仮付けする。

(詳細図 A)

ジャッキでロワームを持ち上げ、ストラット下側とナックルアームを接続し、車両後方よりボルト2本を差込み、ナット2個を取り付け、指定トルクで締め付ける。

指定トルク 240Nm (24.5kgf·m)

(詳細図 C)



リジットラップ



ひっかけスパナ



トルクレンチ



スピナーハンドル



ガレージジャッキ



インパクト



スパナ

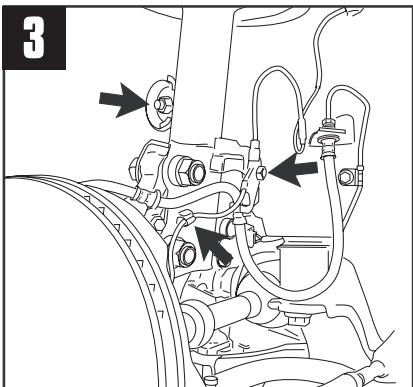


メガネレンチ



ラチェットレンチ

3



ナットを外し、スタビリンクをショックアブソーバーから切り離す。

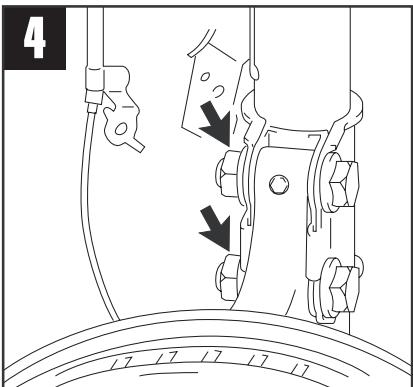
(詳細図 B)

ボルト及びクリップを外し、ブレーキホース、ABSセンサー ハーネスをショックアブソーバーから切り離す。

(詳細図 D)

注意 ブレーキホース、ABSセンサー ハーネスに無理な力がかかるたり、傷つけないように注意して下さい。

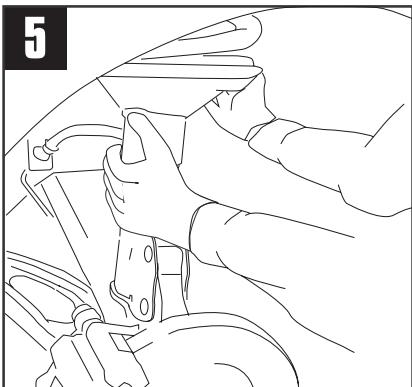
4



ナックル下部をジャッキで持ち上げ、車重を掛けた状態で、ショックアブソーバーとナックルを止めているボルト2本を外し、ナックルとショックアブソーバーを切り離す。

(詳細図 C)

5

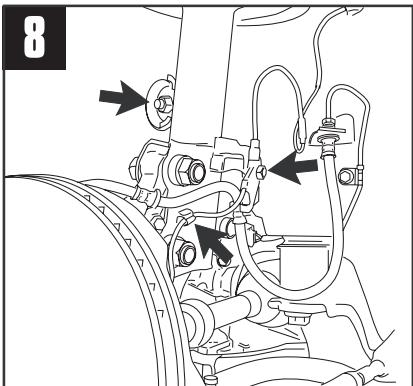


ショックアブソーバーを手で支えながら、②で緩めたエンジンルーム内のショックアブソーバー取り付けナット3個を取り外し、ショックアブソーバーを抜き取る。

注意 ショックアブソーバーは、重量がありますので手でしっかりと支えて下さい。足に落下してケガをする可能性があり危険です。

注意 ブレーキホース及び、ABSセンサー ハーネス引っかかり、切断したりキズをつけたりしないように注意して下さい。

8



スタビリンクを接続し、ナット1個を指定トルクで締め付ける。

指定トルク 74Nm (7.5kgf·m)

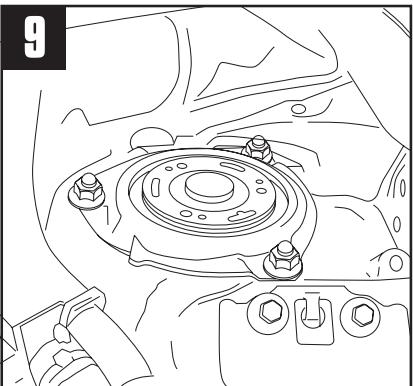
(詳細図 B)

ボルト及びクリップでブレーキホース、ABSセンサー ハーネスをショックアブソーバーに取り付ける。

指定トルク 19Nm (1.89kgf·m)

(詳細図 D)

9

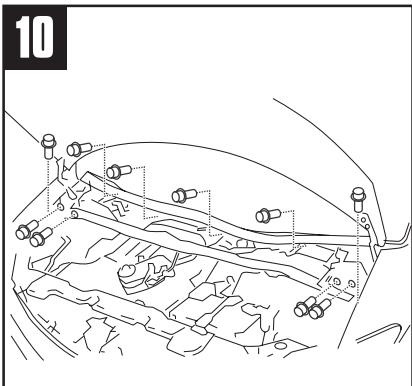


取り付け手順⑥で仮付けしたエンジンルーム内の取り付けナット3個を指定トルクで締め付ける。

指定トルク 50Nm (5.1kgf·m)

(詳細図 A)

10



ボルト10本でカウルトップアウトサイドとワイパー モーターを取り付け、ワイパー モーターASSYのコネクター、ブレーキリザーバーブラケット、カウルトップベンチレーターラバ、フロントフェンダツウカウルサイドシール、ワイパー アームを取り付ける。

指定トルク

カウルトップアウトサイド取付ボルト
8.8Nm(0.9kgf·m)

ブレーキリザーバーブラケット取付ボルト
8.8Nm(0.9kgf·m)

ワイパー アーム取付ナット
25Nm (2.5kgf·m)

※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

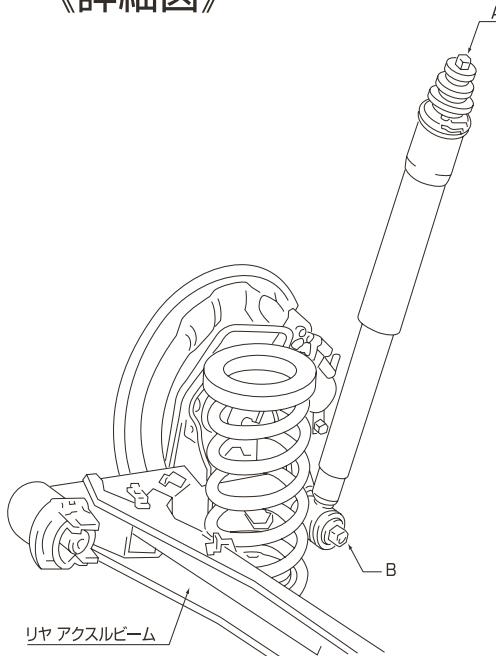
REAR

リヤ サスペンション

△ 注意 純正部品脱着の詳細につきましては、自動車メーカー発行の整備解説書をご覧ください。

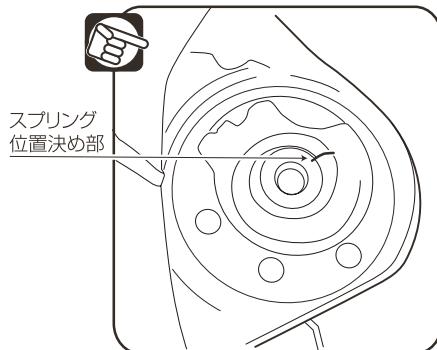
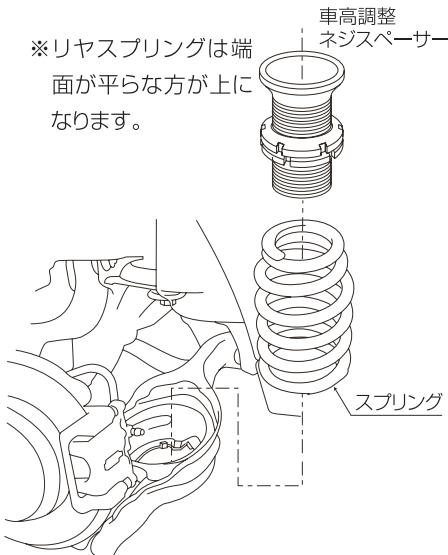
脱着のポイント

《詳細図》



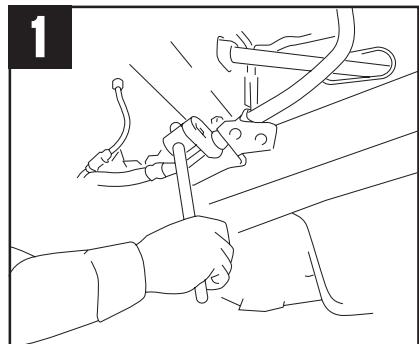
フロント／リヤ共に、取り外しの手順で左右を取り外してから、サスペンションキットの取り付けを行って下さい。

※リヤスプリングは端面が平らな方が上になります。



取外し

1



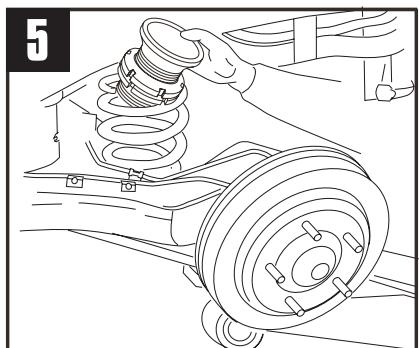
ボルトを外し、ABSセンサー＆センサーハーネス及びパーキングブレーキケーブルをリヤアクスルビームより切り離す。

ユニオンナットレンチを使用して、リヤブレーキチューブを切り離し、クリップを外してブレーキチューブをリヤアクスルビームより切り離す。

△ 注意 ブレーキチューブを切り離す際に、フルードが車体等に付着しないように注意して下さい。

取付け

5



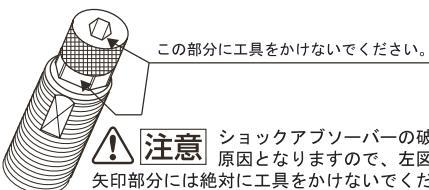
減衰力調整の仕方

ショックアブソーバー頂部にあるダイヤルを回して調整します。右に回していく、止まった所が0段です。この位置が段数を確認する基準となり、左に戻したクリックの回数が段数になります。



△ 注意 締めきり(0段)での使用は破損の原因となりますので、使用しないでください。減衰力は1～40段の範囲で調整出来ます。構造上40段以上に戻りますが、破損の原因となりますので必ず1～40段の範囲で調整してください。

△ 注意 左右のショックアブソーバーの減衰力は必ず合わせてご使用ください。事故等につながる恐れがあります。

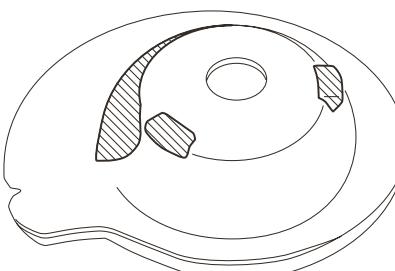


△ 注意 ショックアブソーバーの破損の原因となりますので、左図内の矢印部分には絶対に工具をかけないでください。



純正リヤスプリングインシュレーターUPRの加工

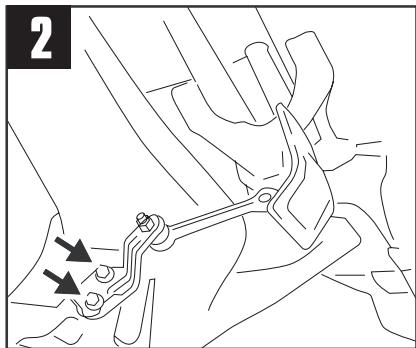
取り付け作業に入る前に、純正のリヤスプリングインシュレーターUPRを車高調整ネジスペーザーが取り付けできるように、図の斜線部分をカッターなどで切り取ります。



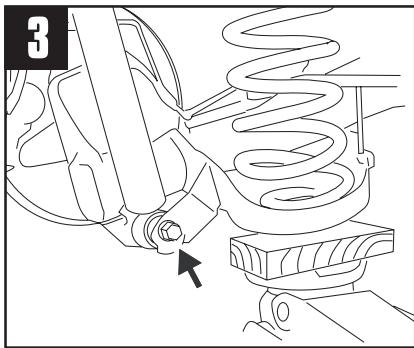
スプリングの上に、構成パーツの車高調整ネジスペーザーを左右のA寸法を合わせた状態で乗せ、加工した純正のリヤスプリングインシュレーターUPRを取り付け、車体に取り付ける。

※車体に取り付けた状態での車高調整はできません。必ず、取り付ける前に左右のA寸法を合わせて下さい。

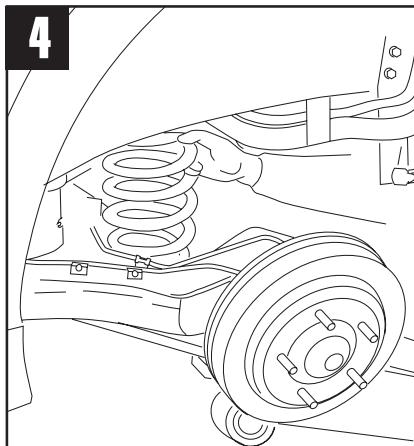
スラストシートは車高調整ネジスペーザーとスプリングの間に取り付けてください。



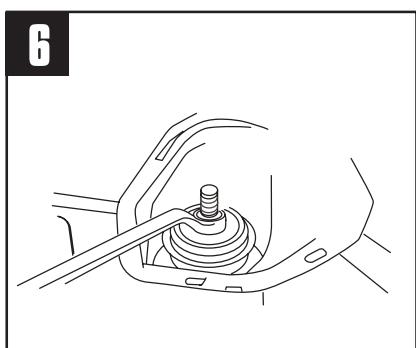
ボルトを2本を外し、ハイドロコントロールセンサーをリヤアクスルビームから切り離す。



木片を介してリアアクスルビームを支える。
ヘキサゴンレンチを使用して、ショックアブソーバー上部ナットを取り外す。
下部ボルトを取り外し、ショックアブソーバーを車両より切り離す。
(詳細図 A,B)



ジャッキをゆっくりと降ろし、リアアクスルビームを下げてゆき、スプリングを取り外す。



ジャッキでリアアクスルビームを徐々に上げ、ショックアブソーバーを取り付け、上側ナットをブッシュを介して取り付け指定トルクで締め付ける。

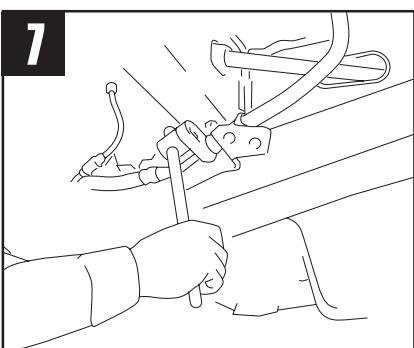
指定トルク 25Nm (2.5kgf·m)

(詳細図 A)

ショックアブソーバーをリアアクスルビームに取り付け、荷重のかかった状態で指定のトルクで締め付ける。

指定トルク 58Nm (5.9kgf·m)

(詳細図 B)



ブレーキチューブをクリップを用いてリアアクスルビームに固定し、ユニオンナットレンチを使用してブレーキチューブを接続する。

指定トルク 15N·m (155kgf·cm)

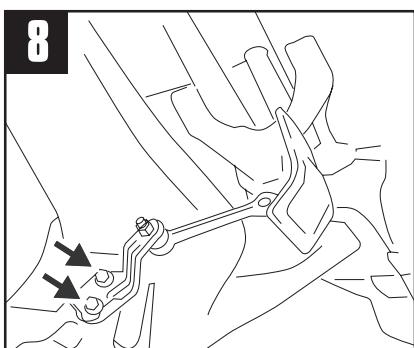
ABSセンサー&センサーハーネス及びパーキングブレーキケーブルをリアアクスルビームに取り付ける。

指定トルク

ABSセンサー&センサーハーネス
5.0Nm (0.5kgf·m)

パーキングブレーキケーブル

7.8Nm (0.8kgf·m)



ハイドロコントロールセンサーをアクスルビームに取り付けボルト2本を指定のトルクで締め付ける。

指定トルク 8.8Nm(0.9kgf·m)

注意 ブレーキホース取付け後、必ずブレーキのエア抜きを行って下さい。

車高調整

フロント

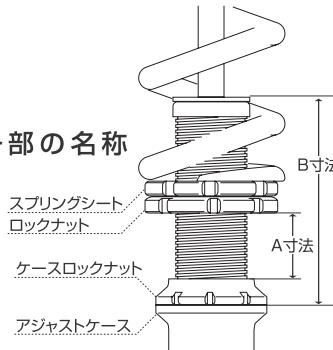
△ 注意 ショックアブソーバーの全長を調整する際、必ず下記B寸法の範囲内（調整限界ミゾがアジャストケース・ロックナットより上に出ない範囲）で行ってください。

範囲外に調整した状態で使用しますと、アジャストケースが緩みやすくなり、ショックアブソーバーが車両から脱落するなど、重大事故につながる可能性があります。

B寸法範囲	出荷時寸法
フロント 150mm ~ 190mm	165mm

*調整の仕方は、別紙“車高調整の仕方”を参照してください。

各部の名称



リヤ

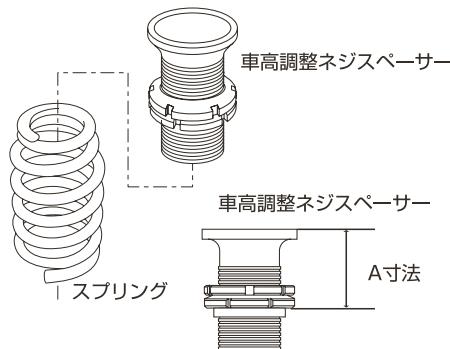
①5~6ページのリヤサスペンション取り外し手順を参照し、車体よりスプリングとネジスペーサーを抜き取る。

②車高調整ネジスペーサーのロワシート、ロックナットを緩め、左右のA寸法を希望する数値に合わせて、確実に締め固定する。

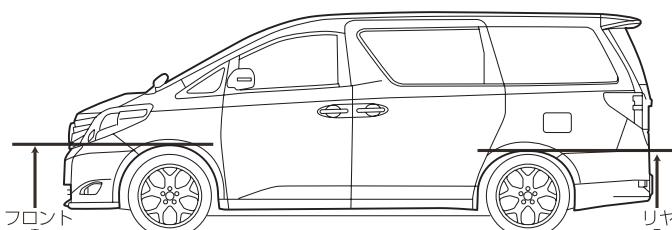
（A寸法を大きくすると車高が上がり、小さくすると車高が下がります。）

③5~6ページのリヤサスペンション取り付け手順を参照し、車体にスプリングとネジスペーサーを取り付ける。

*スプリングシート及びロックナットの締め付けは、必ず専用のレンチ（ひっかけスパン）を使用し確実に締まった状態にしてください。



車高基準測定箇所



参考車高（ノーマル比）

フロントA寸法 45mm	リヤA寸法 20mm
GGH20W フロント -55 mm	リヤ -55 mm
ANH20W フロント -40 mm	リヤ -50 mm

△ 注意 車高調整毎に、必ず各自動車メーカー発行の整備書を参照して、ホイールアライメントを調整してください。

△ 注意 ※基準値を超える場合、タイヤの偏磨耗及び、操縦性低下の原因になります。

参考車高

参考車高は、当社開発車両によるデータです。
車重、装備品、使用するタイヤサイズにより、車高、最低地上高は異なりますので必ず現車で計測し、最低地上高が90mm以上になるように調整してください。

型取車諸元表

△ 注意 ※下記のデータは、当社の開発車両データです。車両の年式、グレード、装備内容によりデータは異なる場合があります。

車名	トヨタ アルファード 型式 DBA-GGH20W			
グレード	350S (3.5ℓ)			
ホイールサイズ	フロント	8.0JJ-19 INSET 37	リヤ	8.0JJ-19 INSET 31
タイヤサイズ	フロント	245/40-19	リヤ	245/40-19
トーンイン	フロント	1 ± 2mm	リヤ	4 ± 4mm
キャンバー	フロント	0° 15' ± 45'	リヤ	-1° 30' ± 30'
キャスター	5° 55' ± 45'			

車高（ノーマル比）

GGH20W	フロント	-70~-30mm	リヤ	-55~-35mm
ANH20W	フロント	-55~-15mm	リヤ	-50~-30mm

△ 注意 ※ホイールアライメントの数値はメーカーの標準値を記載しております。

※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。